

# ～ § 1 計画の基本的事項～

## I 策定の趣旨

「広島県みなと・空港振興プラン 2021」は、広島県の総合計画「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」の目指す県土の将来像を実現するため、社会資本分野のマネジメントの基本方針として策定している「社会資本未来プラン」における港湾・漁港・空港部門の事業別計画として策定するものです。

なお、本プランは港湾及び漁港に関する『みなと振興』と『空港振興』で構成します。

※このプランの対象となる港湾・漁港は管理者が県であるものとしている。

## II 計画の概要

**期間：令和3年度～令和7年度（5年間）**

「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」及び「社会資本未来プラン」に掲げる10年後の目指す将来像に向けて、具体的に取り組むべき事業別整備計画として5年間とします。

**投資予定額：概ね410億円**

投資予定額は、「中期財政運営方針」を前提として、「社会資本未来プラン」における、社会資本整備の優先順位を踏まえて、設定しています。

## III 計画の位置づけ

**安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン**（R2.10策定）

～仕事も暮らしも。里もまちも。それぞれの欲張りなライフスタイルの実現～

**社会資本未来プラン**（R3.3策定）

～社会変化に適応したインフラマネジメントの推進～

**「広島県みなと・空港振興プラン 2021」**

## IV 前プランの評価

### 前プランでの主な取組成果《みなと振興プラン》

基本方針	方針の柱		主な成果（■ハード、◇ソフト）
みなと振興の重点化	強固な経済交流基盤を支える みなとづくり	新たな産業、基幹産業の競争力強化	■広島港五日市・廿日市地区（臨港道路）部分完成 ■広島港海田地区（岸壁補強・荷役機械）完成
		交流、賑わい機能の強化	■厳島港宮島口地区旅客ターミナル完成 ■広島港宇品地区クルーズターミナル事業着手 ◇「瀬戸内クルージングポータルサイト」Englishページ開設
	生活・暮らしを守る みなとづくり	海域環境の修復	■福山港内港地区（底質改善）
		耐震強化施設の整備	■広島港宇品地区（耐震強化岸壁）着手 ◇港湾BCPの策定（H29.3）
		安心して利用できる施設の充実	■蒲刈港宮盛地区（防波堤） ■草津漁港草津地区（岸壁補強）
	地域活動を支える みなとづくり	海上交通の安全確保	■千年港岩船地区（小型船船だまり） ■小用港ウシシ地区（小型船船だまり）
魅力的なみなとまちづくりの推進		※交流、賑わい機能の強化と同じため省略	
港湾施設の有効活用	既存施設の有効活用	■鮎崎港垂水地区（浮棧橋） ■横田港家廻地区（浮棧橋）	
	既存施設を最大限活用するソフト施策の展開	◇宮島口旅客ターミナル供用開始（R2.2） ◇走漁港用地への陸上養殖施設の進出（R2.6） ◇みなとオアシス登録件数12件（R2末時点国内最多）	
港湾施設の適正な維持管理			◇広島港コンテナ貨物取扱量過去最高（R1） ◇広島港へのクルーズ客船の寄港回数が過去最高（R1） ◇広島港コンテナターミナル運営の民営化（H29.4） ◇インセンティブ制度の創設
			◇港湾施設修繕方針の一部改訂（H29.3） ◇港湾・漁港施設維持管理計画書の改訂（H29.4） ◇放置艇解消のための基本方針の策定（H30.3）



## 前プランでの主な取組成果《空港振興プラン》

基本方針	主な成果
<p>空港施設機能の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運用時間の延長（7:30～21:30⇒22:30）（H29.10）</li> <li>○ エプロンスポットの一部マルチ化（H30完了）</li> <li>○ 滑走路端安全区域（RESA）の整備着手（H31）</li> <li>○ 滑走路及び誘導路の計画的な更新・修繕（R2完了）</li> <li>○ 県営駐車場駐車料金低廉化（30分無料化）の継続</li> </ul>
<p>航空ネットワークの更なる充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国内線 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運用時間の延長を活用し、H29.10に羽田線の最終便が増便</li> <li>・ H30.3以降、羽田線の一部機材が大型化（貨物輸送量の増強に寄与）</li> </ul> </li> <li>○ 国際線 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ H29.10にシルクエアによるシンガポール線就航（日本初就航）</li> <li>・ R元.12にノックエア（LCC）によるバンコク線就航（日本初就航）</li> <li>・ R2.3に香港エクスプレス（LCC）による香港線が1便増便</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: center;">（※上記は新型コロナウイルス感染症拡大前の運航計画ダイヤ）</p>
<p>空港アクセスの改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 速達性向上のためのトリプルウェイ化※を推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>※ ①広島高速5号線、②一般国道2号東広島・安芸バイパス、③白市ルート（JR山陽本線+白市空港連絡バス）</li> </ul> </li> <li>○ 定時性向上のため山陽自動車道での交通安全対策</li> <li>○ サービスの高質化・快適性向上のための対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リムジンバスネットワークの拡充 7路線→9路線 （H28三次※1・尾道※2、H29西条、R元尾道）※1 R2.9廃止 ※2 H31.1廃止</li> <li>・ 「Visit Hiroshima Tourist Pass」の空港リムジンバス適用など、増加するインバウンド旅客への対応強化</li> </ul> </li> <li>○ 渋滞・事故発生時の対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広島空港7ヶ所情報システム（広島空港など8か所にデジタルサイネージ設置）を改修し、表示時刻や関連情報を見やすくするなど、視認性を向上（R元.12）</li> <li>・ 山陽道通行止め等による広島リムジン運休時に、利用者をJR山陽本線へ誘導するとともに、白市空港連絡バスを増便運行</li> </ul> </li> <li>○ 官民で組織する広島県空港振興協議会において、令和元年12月に広島空港アクセス対策アクションプログラム（H22策定）を見直し</li> </ul>
<p>空港経営改革への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広島県空港振興協議会の空港活性化部会から空港の将来像、今後の運営のあり方について提言を受け、「広島空港の経営改革に係る県の基本方針（H29.3）」を策定し、空港経営改革の導入を推進</li> <li>○ 空港経営改革推進委員会から広島空港の経営改革について受けた提言（H30.10）を基に国へ要望を行い、令和3年8月から民間事業者による運営事業開始が実現</li> </ul>



## 主な成果目標と達成状況

「社会資本未来プラン」に基づいた、客観的な事業評価により、優先順位が高い箇所から、効果的・効率的な整備を進めるとともに、ハード・ソフト一体となって計画的に施策の推進に努めてきました。目標値の達成は一部困難な状況ではありますが、施設整備については概ね順調に進捗しています。

### ◇ 主な目標値の達成状況

項目			H26 現況値	R2 末目標値	R2 末見込み
コンテナ航路の維持・拡充	広島港	中国	週 6 便 (H26d)	現状値を維持	週 7 便
		東南アジア	週 2 便 (H26d)	現状値より向上	週 1 便
	福山港	中国	週 6 便 (H26d)	現状値を維持	週 6 便
		東南アジア	週 1 便 (H26d)	現状値より向上	週 1 便
運営が民営化された港湾			0 港	1 港	1 港
クルーズ客船の入港回数(1 万トン以上)			15 回/年 (H26d)	43 回/年	2 回/年 R1:40 回/年 ※1
ビジター船舶の利用回数(プレジャーボート等)			4,961 隻・日/年 (H26d)	7,200 隻・日/年	4,708 隻・日/年 ※2
放置艇禁止区域内でのプレジャーボート隻数			93 隻 (H26d)	0 隻	23 隻
港湾における緊急物資供給可能人口カバー率			32% (H27d)	52%	52%
港湾 BCP 策定			0 港	3 港	3 港
広島空港国内定期路線数・便数			5 路線・25 便/日	5 路線・26 便/日	5 路線・24 便/日 (5 路線・25 便/日) ※3
広島空港国際定期路線数・便数			4 路線・28 便/週	7 路線・36 便/週	全路線運休 (5 路線・26 便/週) ※3
広島空港利用者数			271.9 万人/年	316.5 万人/年	70 万人

※1 クルーズ客船の入港回数は新型コロナウイルス感染症により R2 年度の入港は 12 隻の見込みとなったが、R1 年度の入港は 40 隻と概ね目標を達成している。

※2 ビジター船舶の利用隻数は、新型コロナウイルス感染症による外出自粛や感染拡大防止対策による施設の入港中止などの状況もあり R1 年度のデータを掲載する。

※3 新型コロナウイルス感染症拡大前の運航予定を記載している。

### ◇ 事業完成箇所（港湾；実績 10 箇所（予定）/計画 11 箇所，漁港；実績 5 箇所/計画 5 箇所）

港湾	主な事業箇所
計画通り完成 (8 箇所)	広島港海田地区（荷役機械）、広島港海田地区（岸壁補強）、小用港ウシイン地区、蒲刈港宮盛地区、鯉崎港垂水地区、尾道糸崎港西御所地区、生口港洲江地区、福山港内港地区
計跟前倒し完成 (2 箇所)	竹原港北崎地区、千年港岩船地区
完成予定が未完了 (3 箇所)	広島港宇品地区、御手洗港三角地区、福山港内港地区
漁港	主な事業箇所
計画通り完成 (4 箇所)	草津漁港草津地区、豊島漁港丸山地区、沖浦漁港明石地区、横田漁港家廻地区
計跟前倒し完成 (1 箇所)	倉橋漁港須川地区
完成予定が未完了 (1 箇所)	音戸漁港鰯浜地区